

2024年度日本農村生活学会大会

(第72回大会)

プログラム

期 日:2024年 9月 28日(土) 13:00~17:30
(令和6) 9月 29日(日) 10:00~15:50

会 場:千葉大学園芸学部:松戸キャンパス(千葉県松戸市松戸648)

★シンポジウム 9月28日(土) 13:10~16:30

「これからの都市農業」

座 長:櫻井 清一(千葉大学)
報 告 者:小口 広太(千葉商科大学)
平野 徹(西船橋ひらの農園)
廣瀬 亮介(船橋市農業委員会事務局)
コメンテーター:西山 未真(宇都宮大学)

★ラウンドテーブル 9月29日(日)13:00~15:00

ラウンドテーブル1:「最近の農業女性の動向について考える ―農と暮らしの視点から―」

コーディネーター:飯塚 里恵子(千葉県農村地域文化研究所)
報告者:佐藤 真弓(農林水産政策研究所)
コメンテーター:杉原 たまえ(東京農業大学)・高柳 功(成田市おかげさま農園)

ラウンドテーブル2:「千葉の畜産業のこれから ―地域や消費者とともに創る―」

コーディネーター:唐崎 卓也(流通経済大学)
報告者:高橋 秀行(八千代市・高秀牧場)
コメンテーター:佐藤 奨平(日本大学)

主 催:日本農村生活学会

共 催:千葉大学大学院園芸学研究院・園芸学部

【第1日 9月28日(土)】

会場:松戸キャンパス E 棟2階 合同講義室

総合司会:唐崎 卓也(流通経済大学)

(1)開会挨拶 13:00~13:10

大会実行委員長挨拶: 櫻井 清一(千葉大学)

開催校挨拶: 華岡 光正(千葉大学 評議員)

学会長挨拶: 市田 知子(明治大学)

(2)シンポジウム 13:10~16:30

テーマ「これからの都市農業」

座長:櫻井 清一(千葉大学)

2010年代に都市農業に関わる法律が数多く制定あるいは改正され、都市農業を持続させるための制度的環境が変化しつつある。議論は分かれているものの、単純に都市的土地利用から農業・農的要素を排除するのではなく、理念としては両者を共存させることを目指した制度改革とみなしてよいだろう。しかし都市農業をめぐる環境が依然として厳しいことは事実である。また、都市農業をめぐる利害関係者も多様である。多くの農業者が直面する農協等の農業団体、流通業者、個別消費者だけでなく、都市には様々な事業体や組織が潜在的利害関係者として存在する。都市農業者はこうした環境や制度の諸問題と向き合いながら主体的な実践を積み重ね、各地で多様な都市農業が展開している。

今年度大会の開催地である千葉県は、全国有数の農業県であるが、北西部を中心に人口400万人以上の一大都市圏が展開している。しかし都市的地域にあっても、野菜および果樹作では全国有数の規模を誇る産地が形成されている。また工夫を凝らしながら水稻作や畜産を維持する地域もある。販売・流通も多様である。都市農業でよく紹介される直接販売やCSAといったオールタナティブな販路が多様に形成されている一方、農協共販を核とした慣行型の販路も維持され、重要な役割を果たしている。

近年の本学会大会では、開催地が首都圏に集中していたこともあり、シンポジウムや一般報告では都市農業に関する報告が多数なされている。ラウンドテーブルでも都市農業者に話題提供いただいたケースは多い。しかしシンポジウムのテーマとして、都市農業を明示して集中的に論ずることはこれまでなかった。

開催地千葉県の立地特性や、都市をめぐる制度および環境の変化が見られる現在、都市農業の今後のあり方について集中的に論ずることは意義あることと考え、今回のシンポジウムを企画した。

報告者として、まず都市農業について制度と実践の両側面から研究を蓄積している小口広太会員に、都市農業の概況について包括的な報告をお願いする。続いて船橋市にて親子で野菜栽培を続けている平野徹氏に、ご自身の経営概況を紹介いただき他ながら、都市農業を実践し継続することの意義・課題について報告いただく。最後に、様々な困難を抱える都市農業経営体を長きにわたり支援してきた船橋市役所(現:農業委員会事務局)の廣瀬亮介氏に、船橋市の取り組みやご自身の経験をご報告いただき、都市農業を支援する立場からの意見をいただく。お三方の報告を受けた後、開催校での勤務経験も有し、千葉農業、都市農業にも精通している西山未真会員(宇都宮大学)よりコメントをいただき、討論のきっかけとしたい。総合討論では、どのように都市農業の持続性を高めることができるか、会員からも意見を募り、検討を深めたい。

座長解題 櫻井 清一(千葉大学)

13:10~13:25

報告:

① 小口 広太(千葉商科大学)

「都市農業の可能性と未来:その論点整理と課題」

13:25~13:55

② 平野 徹(西船橋ひらの農園)

「都市の特性をふまえた農業経営の実践とこれから」

13:55~14:25

③ 廣瀬 亮介(船橋市農業委員会事務局)

「船橋市の多様な農業と今後の展望」

14:25~14:55

休憩	14:55～15:10
コメント 西山 未真(宇都宮大学)	15:10～15:30
総合討論(座長総括を含む)	15:30～16:30
(3)学会賞授与式及び総会	16:30～17:30

【 第2日 9月29日(日) 】

(1)一般報告(10:00～11:30)

★A 会場:松戸キャンパス E棟205教室 1人20分(報告15分 質疑応答5分)

A-1(10:00～10:40) 座長:中本 英里(農研機構)

①障がい者への就労継続支援事業所職員による農作業支援の構造

三重県農業研究所 ○飯場 聡子
兵庫県立大学 山端 直人

②学校給食の食育に関する取り組みの現状と課題ー神奈川県湯河原町立吉浜小学校を対象にー

日本大学 ○三谷 凛奈
日本大学 川手 督也

A-2(10:50～11:30) 座長:中村 貴子(京都府立大学)

③グリーン・ツーリズムの事業承継における受け手に対する事業主の要望ー秋田県農家民宿への聞き取りの分析ー

秋田県立大学大学院 ○藤原 絹子
秋田県立大学 重岡 徹・谷口 吉光

④農産物直売所における漬物消滅の危機と対応策ー福岡県筑前町みなみの里を事例にー

信州大学大学院 ○福丸 未央
信州大学 小林 みずき

★B 会場:松戸キャンパス E棟206教室 1人20分(報告15分 質疑応答5分)

B-1(10:00～10:40) 座長:原 珠里(東京農業大学)

①女性農業者「令和モデル」の検討と「つなぐ力」が持つ可能性

元宇都宮大学大学院 ○菊池 綾音
宇都宮大学 西山 未真

②農業者夫婦間のパーソナルネットワークの相互影響要因ー二者関係データの分析を用いてー

農研機構 唐 冠琰

B-2(10:50～11:10) 座長:粕谷 美砂子(昭和女子大学)

③近代化の中の伝統の行事食;視座としての農村女性の表象

福井大学 嘉瀬井 恵子

(2)休憩 11:30~13:00

(3)ラウンドテーブル 13:00~15:00

ラウンドテーブル1 会場:松戸キャンパス E 棟205教室

「最近の農業女性の動向について考える ―農と暮らしの視点から―」

コーディネーター:飯塚 里恵子(千葉県農村地域文化研究所)

報告者:佐藤 真弓(農林水産政策研究所)

コメンテーター:杉原 たまえ(東京農業大学)・高柳 功(成田市おかげさま農園)

ラウンドテーブル2 会場:松戸キャンパス E 棟206教室

「千葉の畜産業のこれから―地域や消費者とともに創る―」

コーディネーター:唐崎 卓也(流通経済大学)

報告者:高橋 秀行(八千代市・高秀牧場)

コメンテーター:佐藤 奨平(日本大学)

(4)ラウンドテーブル総括 15:10~15:40

会場:松戸キャンパス E 棟205教室

【 お知らせ 】

- 今年度大会では懇親会は予定しておりません。
- キャンパス内の生協食堂は営業しておりません。そのため、2日目の昼食は参加者の皆さま各自でお取りください。当日、会場にて周辺の食堂・レストランとコンビニエンスストアの案内図を用意する予定です。キャンパスの近くでは飲食店は数に限りがあります。松戸駅周辺まで少し戻っていただくと、多くの飲食店がございます。

☆☆

○大会参加費(報告要旨代を含む)	正会員	4,000円
	非会員(学生以外)	5,000円
	学生(学生会員, 非会員学生)	2,000円

☆☆

<大会参加申し込み方法>

★参加申込:参加される方は、**9月20日(金)18時まで**に

Peatix(<https://n2024taikai.peatix.com>)にてお申込みください。左記HPの

チケットを申し込む ボタンからお申込みできます。ご記入いただくのは以下の事項です。

記載事項:①ご氏名、②ご所属、③会員種別(正会員・学生会員・非会員・非会員の学生)、④参加日程(全日程・第1日のみ・第2日のみ)、⑤連絡先(メールアドレス・電話番号)、⑥備考(大会事務局への連絡など)

★今大会の参加申し込みと参加費お支払いに使用する Peatix(ピーティックス)は、Peatix 社によって運営されているイベント管理システムです。大会参加申し込みから、大会参加費のお振込みまで、上記 URL のホームページ上で済ますことができます。大会参加費のお支払いには、クレジットカード・コンビニ・ATM 払いができます。コンビニ・ATM 払いの場合、振込手数料がかかります。その場合、おそれいりますが振込手数料をご負担ください。

★Peatix での大会参加申し込みにあたっては、システムにログインするためのアカウントを取得(新規登録)する必要があります。Peatix のホームページの画面右上方にある「新規登録」から、メールアドレスやパスワードなどを設定いただきます。なお、Facebook、Twitter、Google、Apple のいずれかのアカウントをお持ちの方は、それらを使ってログインすることもできます。申し込み方法等でご不明な点がある場合、次ページの大会問い合わせ先にご連絡下さい。

★大会参加費のお支払い後、やむを得ないご事情により不参加の場合も原則として返金はいたしません。ご了承いただければありがたいです。

★1日目のシンポジウムのみ、2日目のラウンドテーブルのみご参加の場合でも、会費を頂きます。学会活動ご支援にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

★上記の Peatix のサイトからのお申し込みができなかった場合、当日申し込みによる参加も可能です。その場合、当日の参加申込書にご記入のうえ、大会参加費を大会当日に受付にてお支払い下さい。領収書について宛先等のご指定がある方は、申込書にその旨ご記入下さい。

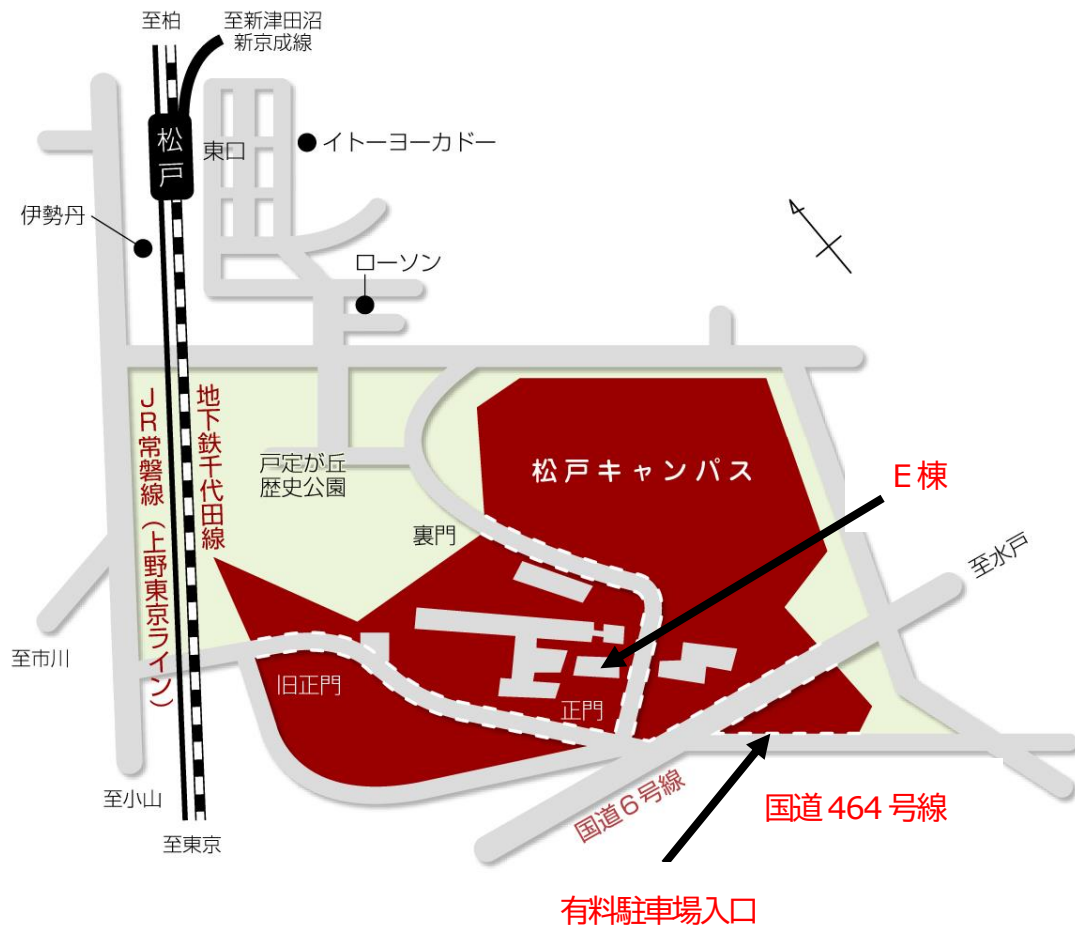
<大会に関する問い合わせ先>

第72回大会委員長

櫻井 清一(千葉大学)

E-mail taikai2024@vfarm.sakura.ne.jp (◆を半角のアットマークにしてください)

千葉大学松戸キャンパス(園芸学部)までの交通アクセスご案内



<電車でのアクセス>

JR 常磐線・新京成線 松戸駅東口より徒歩15分

<車でのアクセス>

*有料駐車場がありますが、なるべく電車・公共交通をご利用ください。

国道 464 号線より有料駐車場「タイムズ千葉大学園芸学部」に入れます(半日 660 円)。

<会場となる建物のご案内>

大会期間中、すべてのイベントは松戸キャンパスの「E棟」で開催されます。

松戸キャンパスには建物が8つ(A~F棟、生協棟、100周年ホール)ございます。

E棟は5階建てで、最も大きくかつ高い建物です。